原単位の改善のための取組に関する状況 【2026年度提出分(2025年度実績)】　※非特定事業者用

株式会社今泉鋳造鉄工所
IMAIZUMI　FOUNDRY　AND　MACHINING　CO.,LTD

銘柄コード	
法人番号	8080001000488

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	22	鉄鋼業
細分類 (申請事業)	2251	銑鉄鋳物製造業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	37,932	GJ	978,646	kℓ
前年度エネルギー 総使用量				kℓ
非化石エネルギー 総使用量		GJ		kℓ
調整後温室効果ガス 排出量			t-CO2	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2025年度実績)		原単位分母			
	主たる事業 の構成割合				%
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)					

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2025年度実績)		原単位分母			
DR実施日数					
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量	
Jクレジット		t-CO2
-	-	t-CO2
-	-	t-CO2
-	-	t-CO2

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	59.0%				
直近5年度間の実績値	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
					0.0
目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
目安設定業種	-		-		
目安(2030年度)	-				
	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
					-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

①電気炉溶解の効率を上げること
②コンプレッサー等の設備をインバーター付きにして省エネを実行
③設備点検・メンテナンスを実行し設備トラブルをなくす
④従業員にも「エネルギーの使用の合理化」を説明し実行してもらう
⑤提案制度で「エネルギーの使用の合理化」の提案をしてもらう

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

現状、非化石化燃料への転換は難しい
非化石化燃料への先端企業・先端業種を参考にさせていただき長期的に変換できるかを検討する

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

:
:
:

(注意事項)
・赤枠囲み欄は必須記載です。
・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては情報の公表を継続する必要があります。